

# ておや だより

栃木県の特別支援教育を  
つなぎます ひろげます ささえます

第22号 2024年10月

栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会 発行  
〒320-0066 宇都宮市駒生 1-1-6 栃木県教育会館  
TEL/FAX:028-627-3603 E: teoya@pony.ocn.ne.jp

保護者同士をつなぎ、知りたい情報を提供  
できる会を目指して！

学校の負担軽減や募金減少に伴う財政難など、本  
会が直面する課題に対応するため、「本会の在り方」  
を検討しました。その結果、共通の悩みや願いをも  
つ保護者同士をつなぎ、保護者に情報を提供するこ  
とに重点を置いて、取り組むことになりました。また、  
保護者に役立つ情報は学校にも役立つと考えて  
います。そのために、HPを開設したり組織や事業  
のスリム化や焦点化を図ったりします。HPのQR  
コードは、次のとおり。（準備ができた内容から、順  
次掲載します。）

URL <https://teoya-t.org>



「県大会並びに研修会・塩谷大会」  
10月22日は、ぜひ、氏家公民館へ

10月22日（火）は、さくら市の「氏家公民館」  
で県大会が開催されます。特に研修会では、保護者  
の立場や、福祉サイドからの様々な支援（一般企業  
に向けた就労支援を含む）について講演会を行いま  
す。さらに交流会では、進路や子育てにかかわる話  
題など、参加する皆様のニーズに沿った内容で時間  
を共有できることを期待します。申込は 10/18  
まで。（当日参加も可能）保護者をつなぎ情報提供  
ができるよう、研修会は3部構成になっています。

講師 栃木県自閉症協会 会長 宮下陽子 氏  
講師 社会福祉法人恵友会 桜花 大島公嗣 氏

ぜひ、一人でも多くの方にご参加いただきたく、  
塩谷地区のみなさんが中心とな  
り、準備を進めています。

申込は、右のQRコードから。



定期総会並びに研修会報告

6月7日（金）定期総会が開催されました。理事・  
代議員の出席により、議事はすべて可決されました。

事業計画・予算、各地区事業助成費（案）も承認さ  
れました。特に、会の在り方が見直されたことで、  
会則や役員、事業についても審議され、多数の質問  
があり、参加者の関心の高さを実感しました。

## \*\*\* 研修会 \*\*\*

研修会では、保護者をつなぎ情報提供している先  
進的な地区の取組について、実践発表がありました。

実践発表1 「わいわいでいすかっしょん」  
足利地区手をつなぐ親の会（協和中） 玉生隼人 先生

○目的：小中児童生徒、保護者との触れ合いや、情  
報交換の場をつくる

○対象：児童生徒、保護者、引率教員

○方法：足利市を東西南北の4地区に分け、地区単  
位で開催

○内容（例）

前半：レクリエーション（かるた、紙飛行機大会、  
ジャンケン列車、健康体操など）

後半：情報交換会などのワークショップ

「聞きたい話、不安や悩み、進路」などについて  
（その間、児童生徒はDVD鑑賞）

○参加者の感想

- ・親子でふれあいながら、近隣の小中学生が同じ  
場に集うことができた。「楽しかった」という感  
想が多かった。
- ・中学生は小学生の前なので、いつもよりしっか  
りした態度で取り組んでいた。
- ・保護者は同じ立場同士、日頃の悩みや進学につ  
いての疑問を話し合っていた。
- ・司会の方がうまく話を引き出してくださり、和  
やかな話し合いができた。
- ・話し合うテーマは、グループによって違ったが、  
どのグループも子どものかかわり方などを共有  
したり、中学校進学への不安について中学校の  
先生や中学生の保護者からアドバイスをいただ  
いたりしていた。和やかな雰囲気の日頃の思い  
を話すことができてよかった。

## ○成果

- ・児童生徒と保護者の良い交流の場となっている。
- ・教員にとってもよい学びの場となっている。
- ・保護者向けのワークショップにより、困り感の解消につながっている。



## ○課題

- ・持続可能な構成やもち方を工夫する必要がある。
- ・内容によっては想定外の方角になることがある。
- ・「誰もが」参加できる方法を、考えていく必要がある。

実践発表2 「進路研究会」(実践例)について  
下都賀地区特別支援教育研究協議会 宮島三和子 様

### 【進路研究会とは】

- ・下都賀地区特別支援教育研究協議会において、2地区(①栃木市・壬生町 ②小山市・下野市・野木町)ごとに、毎年実施している進路研究に関する事業
- ・コロナ禍を機に、②については、3市町合同から、各市町単独で開催
- ・「学校・施設説明会」「学校・施設見学」「情報交換会」を開催

※以下は、「小山市」の進路研究会について、記述する。

### 【令和5年度】

- ・保護者から定評のある学校の担当者からの学校説明会開催
- ・宇都宮青葉高等学園及びH高等専修学校
- ・保護者と教職員約80名が参加

### 【令和6年度(予定)】

- ・不登校などへの対応や、支援学級卒業生の進学実績のある学校説明
- ・就労支援など将来利用する可能性の高い福祉サービスを行う施設の事業や施設説明 など、保護者に知ってほしい学校や施設の説明会

## 【小山市の保護者アンケートから】

○今後も続けてほしい活動 → 進路研究会

○進路研究会で話を聞きたい機関 →

- ・進学実績のある公立高校
- ・就労実績のある企業
- ・配慮がある教習所や就労関連機関 など



○情報交換会の開催方法 →

- ・中学校卒業生保護者から話を聞くスタイル

## 【課題】

- ・運営役員の負担やなり手不足
- ・利用できる機関や制度の知識習得不足 など

## ～ 児童・生徒のみなさんへ～

このメッセージが、一人でも多くの児童・生徒のみなさんに届くことを願っています。

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本  
栃木アスリート委員長 合田怜央 様より

いつもと同じ場所じゃないと不安になる人、いつもの仲間としか話す機会がない人、スポーツに興味はあるけど運動部には入りづらい人、学校以外では体を動かす機会がない人。スペシャルオリンピックスでは学校(職場)や年齢の違う仲間が様々なスポーツを通じて交流を深めています。多動で走り回っていた幼少期とは違い、ルールの中で走る練習を重ね、大会に出て表彰台に上がる喜びも知り、今では欠かせない自分の居場所の一つになっています。

たくさんの方たちにこの活動を知ってもらい、仲間がさらに増えるといいなと思っています。

## ～ 財政悪化、会の運営は厳しい状況～

本会唯一の活動資金は、「手をつなぐ愛の募金」と「賛助会費」です。これらの収入は年々減少し、支出が収入を大幅に上回っています。赤字は過去の積立基金(貯金)から補填してきましたが、あと数年で基金が枯渇します。本会の目的を達成するため、ぜひとも下記募金へのご協力をお願いいたします。

## \*\*\* 今年度も「手をつなぐ愛の募金」にご協力をお願いします \*\*\*

令和5年度は、賛助会費も含め、募金総額 2,899,757 円の募金をいただきました。

ご協力いただいた皆様方の温かいお気持ちに、深く感謝申し上げます。浄財は、県内の特別支援教育活動を支援するとともに、児童生徒に還元できるよう大切に使用させていただきます。今年度も、募金活動を行っています。各学校でも受け付けていますが、直接、募金口座に振り込むこともできます。(口座は下記のとおり)

(足利銀行 宇都宮西支店 (普通) 口座番号 5005140

(名義人) 栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会 会長 鈴木秀明)